



杜の先住民 (美奈宜の杜に住む動物達) No.12

<メジロ>

目のまわりに白い縁取りがあるところから付けられた名前です。庭の木にミカンやリンゴを刺しておくと、真っ先に来てついでにいます。ここでは年中見ることが出来るかわいい小鳥です。

NHKの朝ドラ「あさが来た」で、炭坑内に籠に入れたメジロを持ち込むシーンがあったので、何のためなのか不思議に思いNHKに電話で訊ねてみました。回答は殺風景な坑内での慰めではなく、有毒ガスの検知のためとのことでした。メジロは死をもって有毒ガスの存在を人に知らせますが、人はそれを見て逃げ出せば助かるそうです。どこかで似たような光景があったと思ったら、20年ほど前、オウム真理教の山梨の施設に捜査員が乗り込んだときのテレビの映像でした。先頭に行く捜査員がカナリヤの籠を下げていたのです。あれもサリンを検知するためでした。小鳥は体が小さくて致死量も少ないので、わずかの量でも反応するのでしょうか、そんなむごい役目にかわいい小鳥たちが使われていたのです。やるせない気持ちになりました。私にとってメジロは思い出の多い最も親しみのある小鳥で、小学校の4年生のころから飼っていました。当時はまだ、捕獲も飼育も禁じられておらず、いなかでは多くの家で飼われていました。よく慣れてきれいな声でさえずり、姿も美しいので人気があったようです。仲間同士で持ち寄り、鳴き声を競わせたりして楽しんだものです。ところが中学2年のとき、捕獲が禁止になり飼育も許可制になりました。すぐに役場に出向き許可証の発行を願い出しましたが、係り員が手続きを知らないのです。長いこと待たされた挙句、あとで書類を家に持っていきからと帰されました。結局その約束は果たされず、おかげでその後の数年を私は、違法状態で飼っていたことになってしまいました。役場の人にしてみれば、昔から普通に行われていたことに、違法性の認識を強く持ち得ず、本気になれなかったのでしょう。おおらかな土地柄であり、おおらかな時代でした。それから高校を卒業するまで飼っていましたが、さすがにそのころにはメジロを飼っている友達はひとりもいませんでした。そんな私も、進学のため明日は親元を離れるという日、長く親しんだメジロを裏山に放しました。そのときの気持ちは人生の次のステージへ夢と希望を、ふくらませて...というより、今までの自由で楽しかった暮らしに、別れを告げることの悲しみと寂しさの方が、ずっと大きかったことを覚えています。そして、長年の勤めから解放されて、いま再び自由な暮らしを楽しんでいます。でもメジロはもう見て楽しむだけです。



(メジロ:ヤフー画像引用)

※このコラムは今回が最終回です。先住民のほんの一部しかご紹介できませんでしたが、ここ美奈宜の杜は、多くの動物が暮らす自然豊かなところ。先住民のことを知り、そんな自然に興味を持てば、皆さんの暮らしに潤いも増すことと思います。私の拙文が少しでもその役に立てたら幸いです。ながらくお付き合いいただきありがとうございました。(宇都信泰記)

区会連絡

☆八丁トンネルのダンプカー通行の経過報告

- 12月19日の第2回説明会で、国交省からの回答が出て、1月の区会だよりに掲載しました。その際にははっきりしなかった、事項について経過を報告します。
- ・ダンプカー通行の時期:3月初旬から。日にちは未定。
- ・他所で土砂処分:4件応募があり、2件(7500立米)が決定した。
- ・ダンプカーの区分のため、ピンクの旗またはエプロン等を装着する。

☆交通事故に気をつけましょう

2月に街内で2件の交通事故がありました。今回は、2件とも相手がある事故でしたが、幸い重大な人身事故までには至りませんでした。交通安全委員会から、皆様にこの事故を教訓とした注意事項をお知らせしますので、参考にして頂くようにお願いします。

免許を返納されたり、車の所有を止められるなどで、買い物や通院に支障が出る場合には、西ビル秋山さんやコミ協事務所にご相談下さい。 (交通安全委員会)

区会 & 生活環境部会

★住民懇談会報告

2月7日、14日、21日の各日曜日、H27年度の2回目の、各地区の住民懇談会を開催しました。各地区の状況やご質問などを報告します。

○第3街区住民懇談会(2月7日) 住民出席者38世帯/47名

- 1)『まちづくり』とCCRCとの関連を、住民組織役員から説明した。
- 2)社協坂倉会長からは、社協活動の現状報告を行った。
 - ・楽食活動は会員16名で、60食ほどの配食を行っている。社協は会員募集中。
 - ・まちの75歳以上の高齢者は、130名を越えた。車をやめた方は14世帯ある。
- 3)民生委員/久々原さんから、介護保険申請時の空白期間の対応について、市の支援制度を利用できるとの説明があった。医師会や「きらく荘」などで分るとのこと。
- 4)太陽光発電所建設計画は、堀内電気から今年中に着工したいとの説明を受けたが、地主が変わり、今後の動きは現状不明であると報告。(梅田記)

○第1街区住民懇談会(2月14日) 住民出席者36世帯/44名

- 1)共通事項(『まちづくり』、CCRC、社協活動)に関して
福元区会長、前田まちづくり総括リーダー、鶴田コミ協会長、坂倉社協会長が夫々の事項について現状を説明報告した。
- 2)第1街区内事項
 - ・直近の転出転入者の紹介、5丁目居住状況報告
 - ・街内において、ペットの糞の放置が多い⇒マナー向上啓発喚起の看板設置を決議した。
 - ・『はなみの会』開催を4月3日(日)に決定した。(大倉記)

○第2街区住民懇談会(2月21日)住民出席者46名

- 今回の前半はCCRCおよびそれに関連する美奈宜の杜構想の説明と意見交換を、後半は主として第2街区に関わる討議課題についての質疑応答を行った。今回も若い住民の参加協力をお願いしたが皆無だったのは残念だった。主なものは次の通り。
- 1)CCRCに絡み、過去10数年に渡り美奈宜の杜の事業計画が全く停滞していることの検証や本件に関わる事業者(西日本ビル)の住民への説明責任が求められた。
 - 2)CCRCに絡み訪問医療や訪問介護、緩和ケアなどに関する意見や質問が提起された。
 - 3)今月の大雪について相談窓口としての西日本ビルの住民対応へのまずさが指摘された。
 - 4)八丁峠トンネル工事のダンプ通行量の増大や直近の交通事故対策について討議した。(吉田記)

☆新入居者のお知らせ

- 中村さん (セカンド)
- 松岡さん (定住)



-編集後記- 月末の大雪は、地元の方に何うと、30数年ぶりの積雪量とのことでした。美奈宜の杜の中でも多い場所では40cm近くの積雪で、外出さえ出来ず、苦勞された方が多かった状態でした。大雪だけでなく、台風や大雨などに対する備えをどうするか、今後の住民活動の課題として考えさせられる経験でした。今回の住民懇談会においては、皆様に『まちづくり』について説明を試みましたが、十分に伝わったのか不安です。何時でも住民組織の役員にお声を掛けて頂き、皆様のご意見や不明な点をお伝え下さい。コミ協の事務所には資料が用意してあります。(福元記)